

# 榊原記念研究助成 第20回発表会・記念特別企画講演ご報告

2024年12月14日(土)ステーションコンファレンス東京において、第274回日本循環器学会関東甲信越地方会(会長 慶応義塾大学 家田真樹先生)との共催にて、榊原記念助成の諸行事を盛会裏に行いました。

第22回採択者の先生方の贈呈式に続き、第20回採択者の3名の先生方に2年間の研究成果をご発表いただきました。

第20回の募集テーマは、当時Covid-19が猛威を奮っていたため、「コロナ感染、コロナワクチンにおける心筋炎、心膜炎の研究」といたしました。コロナ関連疾患や後遺症に悩む人々を救うべく進められた貴重な研究の成果が報告されました。



座長: 国際福祉医療大学・東京大学  
小室 一成 先生

座長: 自治医科大学 永井 良三 先生  
総合司会: 大阪大学 瀧原 圭子 先生



今回の特別講演は、榊原記念研究助成研究成果発表会が第20回の節目の会となることから、地方会会員の皆様方にご参加いただけるように、会長家田教授のご高配の下、日循「教育セッション」として、開催させていただきました。

当財団研究委員長永井良三先生にSIPの主旨をご紹介いただいた後、特別企画講演を、我が国の生成AIの第一人者であられる情報・システム研究機構 機構長の喜連川優先生にお願いし、

「近未来の医療データ構築に向けて一本格的な医療LLMと医療LMMがようやく動き出すことになった日本の新しい時代において、臨床医に期待される役割について」の演題にてご講演いただきました。

2つのご講演を通じ、永井先生、喜連川先生が国際的連携を図り、また国内にてもオールジャパンの体制で、我が国の医療AIの構築に、日々ご研鑽を積み重ねながら尽力くださっていることが伝わって参りました。世界に伍して日本でも大きなうねりが実態を表しつつあることがわかり、刻々と益々進化していく次の時代を覗くことができたような素晴らしいご講演となりました。そして、我が国の今後の未来に大きな明るい希望や期待を抱くことができました。多くの方々にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

## 第20回記念式典



問い合わせ先: 榊原記念財団事務局 (Tel: 042-367-4045)